



死生学の拡がり

□ オンライン開催

死生学研究所ホームページから
お申込みください

□ お申込み締め切り

2022年6月15日(水) 17時

□ 先着 100名様

□ お問い合わせ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□ 参加費 無料

第3回連続講座

佐藤啓介

上智大学大学院
実践宗教学研究科教授
(さとうけいすけ)

6月18日(土)

16:20-17:50

死者を倫理的に配慮すべき理由

—死者の存在論と死者の関係論

■プロフィール

上智大学大学院実践宗教学研究科教授。
聖学院大学准教授、南山大学准教授などを
経て現職。専門は宗教哲学、現代思想

内容紹介：

私たちは「死者を尊重すべきだ」「死者の尊厳を守るべきだ」といった表現をしばしば用いますが、その理由はなぜなのでしょう？その理由を理論的に根拠づけようとする、予想外に難しいことが分かります。考え方の一つは「死者は、生者とは同じではないけど、いまでも社会にその記憶が残っているから」（死者の存在論）、別の考え方としては「死者は、私たちに何らかの働きかけをするような存在だから」（死者の関係論）という理由を挙げることができます。現在の哲学・倫理学の議論を参照しながら、またAIで死者を再現する技術のような事例に触れつつ、二つの議論の強みや問題点を考えてみます。

■主要業績

単著『死者と苦しみ』の宗教哲学—宗教哲学の現代的
可能性』晃洋書房、2017
講演に関連する論文：「死者倫理の基礎づけを展望する—
「下からの死者倫理」の意義と問題点」『グリーン
フケア』10、上智大学グリーンフケア研究所、2022
「〈死者の尊厳〉の根拠—下からの死者倫理の試
み」『宗教哲学研究』36、宗教哲学会、2019

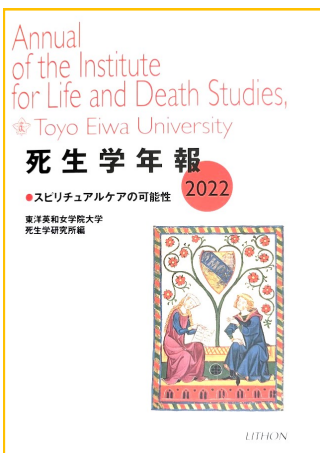
東洋英和女学院大学死生学研究所編

死生学年報2022

臨床死生学の意義

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます。

◆お問い合わせ先 東洋英和女学院大学 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp



〈予告〉

◇第4回〈公開〉連続講座 7月9日(土) 16:20~17:50

日笠晴香(岡山大学講師)

お申込み

